

[フロントライナー] Frontliner

株式会社日本保健衛生協会
東京支社
サニタリーG
発行責任者/東京支社サニタリーG

8
2024
August

スタッフの皆さま、日々の業務に尽力いただきありがとうございます。

記録的な猛暑となっております。熱中症にはくれぐれもご注意くださいたく存じます。

また、地震や大雨等の自然災害への注意も必要です。ご自身や大切な人のためにもいざという時の備えをしておきましょう。

今回のテーマは「段ボールとリサイクル」です。飲料水の購入や引っ越し、ネット注文等々で家にたまった段ボールはどのように処分されていますか？

クリーンルームでは虫の発生要因にもなりうる段ボール。スムーズに処理したいですね。

最近知った筆者の段ボールのリサイクル方法を軸に皆様への朗報となればと思い書かせていただきました。

《知っていますか？捨て方講座》



●段ボールや古紙の処分方法

段ボールをリサイクルに出すとき、底に付いている大きな金具や封されるためのホチキスのような留め具（金具）を外すのがとてもしんどくないでしょうか？でも心配無用です！

これらは無理に取らなくてもOK。リサイクル工場では「分離機」が活躍して、金属部品をちゃんと取り除いてくれます。

ただ、古紙と一緒にビニールやプラスチックを出すと、分別が大変になることがあります。最近の雑誌にはDVDやサンプル化粧品などの付録がついていることがありますが、これらは紙と分離しづらいので、取り外しておくとしリサイクルがスムーズになります。また、DM（ダイレクトメール）のビニール袋も分別が難しいので、ビニール類は分けて捨てるようにしましょう。



実は・・・ホチキスの針の箱にも書いてあります。

●古紙に出せない紙製品

古紙に出せない紙製品

PP 加工された紙（例：雑誌の表紙）は、ポリプロピレンでコーティングされているため、リサイクル時に分離が簡単です。しかし、豆乳パックなどの銀色の紙は分離が難しく、リサイクルできないことがありますので、注意が必要です。

●「9割ルール」とその使い方

「9割ルール」というのは、例えば洋服のチャックが金属でも、90%以上が布なら可燃ゴミとして出して良いというもの。ですが、資源回収にはこのルールは適用されません。少しのビニールが混ざっているだけでも、しっかり取り除いてから出すのがポイントです。

●リサイクル工場での注意点

缶飲料のプルタブ、わざわざ取り外して缶と一緒に捨てる方がいますが、これはリサイクル工場の問題を引き起こすことがあります。取り外されたプルタブが機械に詰まってしまうので、缶と一緒に捨てるのが一番です。

最後に・・・

段ボールや紙製品をリサイクルする際は、ちょっとした工夫でより効率よく、環境に優しくなります。

金具やホチキスはそのままで大丈夫ですが、プラスチックやビニールは取り除くのがポイントです。リサイクル工場でのトラブルを防ぐために、正しい分別を心がけましょう！